

ダイワ・アクティブ リート・ファンド (年4回決算型)

運用報告書 (全体版)

第53期 (決算日 2021年8月10日)

第54期 (決算日 2021年11月10日)

(作成対象期間 2021年5月11日~2021年11月10日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国のリート（不動産投資信託）に投資し、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/不動産投信 (リート)	
信託期間	約14年11カ月間 (2008年6月3日~2023年5月10日)	
運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンドの受益証券
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。基準価額の水準によっては、ポートフォリオの流動性等を考慮し、分配金額を決定する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			東証REIT指数 (配当込み)		投資信託証券 組入比率	不動産投信 指数先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
45期末(2019年8月13日)	16,088	150	8.9	4,161.83	8.9	98.6	-	1,722
46期末(2019年11月11日)	17,166	150	7.6	4,467.84	7.4	97.3	1.9	1,880
47期末(2020年2月10日)	17,511	150	2.9	4,597.37	2.9	96.5	2.7	1,792
48期末(2020年5月11日)	13,376	150	△22.8	3,532.59	△23.2	95.4	2.8	1,345
49期末(2020年8月11日)	13,511	150	2.1	3,558.32	0.7	96.6	2.7	1,512
50期末(2020年11月10日)	13,752	150	2.9	3,678.15	3.4	97.5	2.4	1,538
51期末(2021年2月10日)	15,303	150	12.4	4,116.31	11.9	96.2	2.9	1,710
52期末(2021年5月10日)	16,558	150	9.2	4,503.65	9.4	97.5	2.0	2,034
53期末(2021年8月10日)	17,238	150	5.0	4,712.50	4.6	98.3	2.1	2,275
54期末(2021年11月10日)	16,597	150	△ 2.8	4,585.80	△ 2.7	97.5	1.9	2,096

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

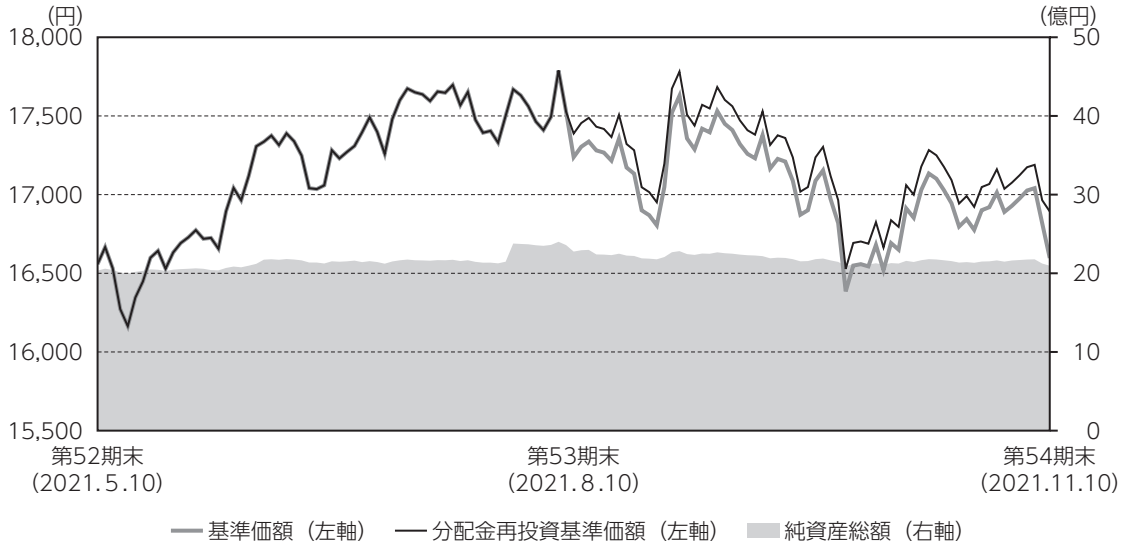
(注3) 投資信託証券および不動産投信指数先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



- *分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- *分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第53期首：16,558円

第54期末：16,597円（既払分配金300円）

騰落率：2.0%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

「ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国のリートに投資した結果、経済活動の正常化期待を受けてJリート市況が上昇したことにより、基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・アクティブJリート・ファンド (年4回決算型)

	年 月 日	基 準 価 額		東証REIT指数 (配当込み)		投資信託証券 組入比率	不動産投信 指数先物 比率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第53期	(期首) 2021年5月10日	円	%			%	%
	5月末	16,558	—	4,503.65	—	97.5	2.0
	6月末	16,725	1.0	4,551.00	1.1	96.4	2.1
	7月末	17,399	5.1	4,732.24	5.1	96.5	2.1
	(期末) 2021年8月10日	17,561	6.1	4,767.40	5.9	96.8	2.1
第54期	(期首) 2021年8月10日	17,388	5.0	4,712.50	4.6	98.3	2.1
	8月末	17,238	—	4,712.50	—	98.3	2.1
	9月末	17,357	0.7	4,755.00	0.9	96.9	2.0
	10月末	16,819	△2.4	4,605.71	△2.3	96.8	1.9
	(期末) 2021年11月10日	17,013	△1.3	4,660.54	△1.1	96.5	1.9
		16,747	△2.8	4,585.80	△2.7	97.5	1.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.5.11~2021.11.10)

■ Jリート (不動産投信) 市況

Jリート市況は上昇しました。

Jリート市況は、当作成期首より2021年7月までは、国内外での長期金利の低下が続いたことや、国内での新型コロナウイルスワクチン接種の進展を受けた経済活動の正常化期待もあり、上昇基調が続きました。8月に入ると、公募増資の増加による需給悪化で上値が重い展開となりました。また、夏枯れで売買代金が低下する中で大口の売買があり、ボラティリティがやや拡大しました。9月下旬以降は、国内外での長期金利の上昇や中国大手不動産会社の恒大集団の資金繰り懸念から下落しましたが、その後は割安感から買いが入ったことから反発し、当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつJリートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

ポートフォリオについて

(2021.5.11~2021.11.10)

■当ファンド

「ダイワJ-R E I Tアクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

■ダイワJ-R E I Tアクティブ・マザーファンド

リートの組入比率につきましては、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、おおむね95~98%台程度で推移させました。また、東証R E I T指数先物への投資も行い、先物と合計で95~100%程度で推移させました。リート銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。個別銘柄では、当作成期を通じて見ると、ジャパンリアルエステイト、三菱地所物流リート、森ヒルズリートなどを東証R E I T指数と比較してオーバーウエートとし、大和証券リビング、平和不動産リート、星野リゾート・リートなどをアンダーウエートとしました。

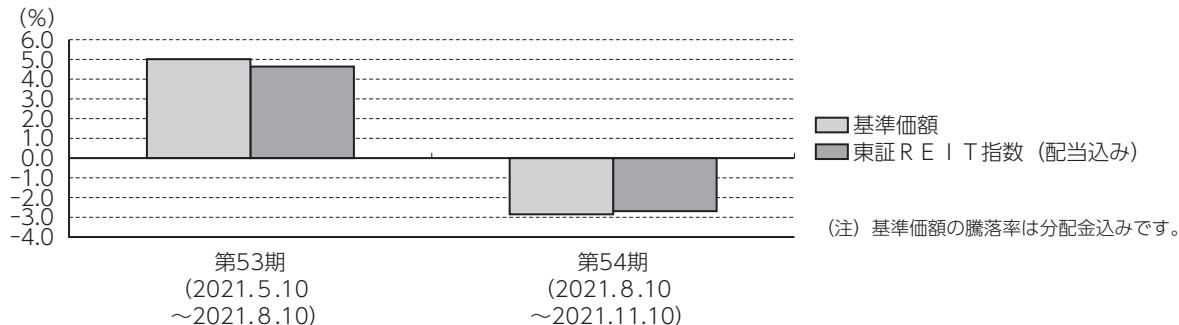
ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドは、参考指数として東証R E I T指数（配当込み）を用いています。当作成期における参考指数の騰落率は1.8%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は2.0%となりました。

投資口価格のパフォーマンスが参考指数を上回ったラサールロジポート、大和ハウスリート、三菱地所物流リート、イオンリートをオーバーウエートとしていたことなどがプラスに寄与しました。他方、投資口価格のパフォーマンスが参考指数を上回った星野リゾート・リート、伊藤忠アドバンスロジスティクス、日本ロジスティクスファンド、S O S i L A物流リートをアンダーウエートとしていたことなどが、マイナス要因となりました。このほか、運用管理費用や売買コスト等がマイナス要因となりました。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第53期	第54期
	2021年5月11日 ～2021年8月10日	2021年8月11日 ～2021年11月10日
当期分配金（税込み）（円）	150	150
対基準価額比率（%）	0.86	0.90
当期の収益（円）	150	110
当期の収益以外（円）	—	39
翌期繰越分配対象額（円）	9,868	9,829

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第53期	第54期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 109.76円	✓ 110.76円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 611.48	0.00
(c) 収益調整金	7,411.89	7,448.27
(d) 分配準備積立金	1,885.27	✓ 2,420.71
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	10,018.42	9,979.75
(f) 分配金	150.00	150.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	9,868.42	9,829.75

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワJ－REITアクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワJ－REITアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつJリートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

1万口当りの費用の明細

項 目	第53期～第54期 (2021.5.11～2021.11.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	90円	0.527%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は17,115円です。
（投 信 会 社）	(43)	(0.249)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(43)	(0.249)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(5)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	15	0.087	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
（投資信託証券）	(15)	(0.087)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	106	0.617	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

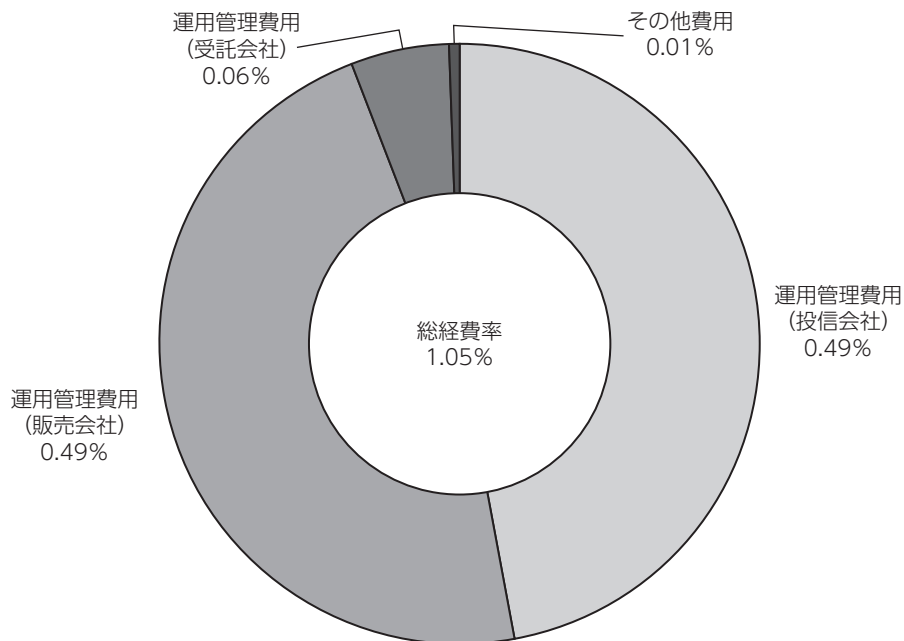
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.05%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年5月11日から2021年11月10日まで)

決算期	第53期～第54期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワJ-REIT アクティブ・マザーファンド	88,444	321,690	86,404	310,010

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2021年5月11日から2021年11月10日まで)

区分	第53期～第54期						
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C	
投資信託証券	百万円 53,937	百万円 15,297	% 28.4	百万円 42,552	百万円 14,105	% 33.1	
不動産投信指数 先物取引	5,245	-	-	5,132	-	-	
コール・ローン	390,544	-	-	-	-	-	

(注) 平均保有割合1.7%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 利害関係人の発行する有価証券等

(2021年5月11日から2021年11月10日まで)

種類	第53期～第54期		
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド		
	買付額	売付額	作成期末保有額
投資信託証券	百万円 99	百万円 -	百万円 1,617

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(4) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となつて発行される有価証券

(2021年5月11日から2021年11月10日まで)

種類	第53期～第54期	
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	
	買付額	付額
投資信託証券	百万円 4,597	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(5) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2021年5月11日から2021年11月10日まで)

項目	第53期～第54期
売買委託手数料総額 (A)	1,899千円
うち利害関係人への支払額 (B)	648千円
(B) / (A)	34.1%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券、大和証券オフィス投資法人です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種類	第54期末		
	第52期末	□数	□数
	千円	千口	千円
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	597,515	599,555	2,113,013

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年11月10日現在

項目	第54期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	2,113,013	98.4
コール・ローン等、その他	34,140	1.6
投資信託財産総額	2,147,153	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月10日)、(2021年11月10日)現在

項目	第53期末	第54期末
(A) 資産	2,352,594,714円	2,147,153,368円
コール・ローン等	7,155,624	7,940,329
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド(評価額)	2,293,449,090	2,113,013,039
未収入金	51,990,000	26,200,000
(B) 負債	76,639,598	50,960,996
未払収益分配金	19,804,535	18,944,580
未払解約金	51,144,269	26,196,804
未払信託報酬	5,661,049	5,759,600
その他未払費用	29,745	60,012
(C) 純資産総額(A - B)	2,275,955,116	2,096,192,372
元本	1,320,302,357	1,262,972,015
次期繰越損益金	955,652,759	833,220,357
(D) 受益権総口数	1,320,302,357口	1,262,972,015口
1万口当り基準価額(C/D)	17,238円	16,597円

* 第52期末における元本額は1,228,769,564円、当作成期間（第53期～第54期）中における追加設定元本額は196,918,153円、同解約元本額は162,715,702円です。

* 第54期末の計算口数当りの純資産額は16,597円です。

■損益の状況

第53期 自2021年5月11日 至2021年8月10日
第54期 自2021年8月11日 至2021年11月10日

項目	第53期	第54期
(A) 配当等収益	△ 407円	△ 318円
受取利息	11	5
支払利息	△ 418	△ 323
(B) 有価証券売買損益	100,918,749	△ 55,878,021
売買益	106,537,065	949,614
売買損	△ 5,618,316	△ 56,827,635
(C) 信託報酬等	△ 5,690,794	△ 5,789,867
(D) 当期損益金(A + B + C)	95,227,548	△ 61,668,206
(E) 前期繰越損益金	248,913,820	305,729,114
(F) 追加信託差損益金	631,315,926	608,104,029
(配当等相当額)	(978,593,975)	(940,696,579)
(売買損益相当額)	(△347,278,049)	(△332,592,550)
(G) 合計(D + E + F)	975,457,294	852,164,937
(H) 収益分配金	△ 19,804,535	△ 18,944,580
次期繰越損益金(G + H)	955,652,759	833,220,357
追加信託差損益金	631,315,926	608,104,029
(配当等相当額)	(978,593,975)	(940,696,579)
(売買損益相当額)	(△347,278,049)	(△332,592,550)
分配準備積立金	324,336,833	300,774,296
繰越損益金	-	△ 75,657,968

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第53期	第54期
(a) 経費控除後の配当等収益	14,492,601円	13,989,762円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	80,734,947	0
(c) 収益調整金	978,593,975	940,696,579
(d) 分配準備積立金	248,913,820	305,729,114
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,322,735,343	1,260,415,455
(f) 分配金	19,804,535	18,944,580
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,302,930,808	1,241,470,875
(h) 受益権総口数	1,320,302,357口	1,262,972,015口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 53 期	第 54 期
1 万 口 当 り 分 配 金	150円	150円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド

運用報告書 第32期（決算日 2021年11月10日）

（作成対象期間 2021年5月11日～2021年11月10日）

ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

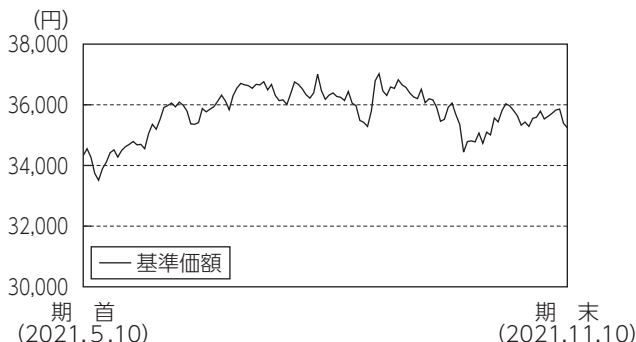
運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
投資信託証券組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		東証REIT指数(配当込み)		投資信託	不動産投信
	円	%	(参考指数)	%	証券	指数先物
	騰落率		騰落率		組入比率	比
(期首)2021年5月10日	34,325	-	4,503.65	-	%	%
5月末	34,695	1.1	4,551.00	1.1	96.5	2.1
6月末	36,127	5.2	4,732.24	5.1	96.6	2.1
7月末	36,529	6.4	4,767.40	5.9	96.9	2.1
8月末	36,454	6.2	4,755.00	5.6	96.9	2.0
9月末	35,353	3.0	4,605.71	2.3	96.9	1.9
10月末	35,791	4.3	4,660.54	3.5	96.6	1.9
(期末)2021年11月10日	35,243	2.7	4,585.80	1.8	96.7	1.9

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
 (注3) 不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：34,325円 期末：35,243円 騰落率：2.7%

【基準価額の主な変動要因】

経済活動の正常化期待を受けてJリート市況が上昇したことにより、基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○Jリート（不動産投信）市況

Jリート市況は上昇しました。

Jリート市況は、当作成期首より2021年7月までは、国内外での長期金利の低下が続いたことや、国内での新型コロナウイルスワクチン接種の進展を受けた経済活動の正常化期待もあり、上昇基調が続きました。8月に入ると、公募増資の増加による需給悪化で上値が重い展開となりました。また、夏枯れで売買代金が低下する中で大口の売買があり、ボラティリティがやや拡大しました。9月下旬以降は、国内外での長期金利の上昇や中国大手不動産会社の恒大集団の資金繰り懸念から下落しましたが、その後は割安感から買いが入ったことから反発し、当作成期末を迎えました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつJリートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

◆ポートフォリオについて

リートの組入比率につきましては、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、おおむね95～98%台程度で推移させました。また、東証REIT指数先物への投資も行い、先物と合計で95～100%程度で推移させました。リート銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。個別銘柄では、当作成期を通じて見ると、ジャパンリアルエステイト、三菱地所物流リート、森ヒルズリートなどを東証REIT指数と比較してオーバーウエートとし、大和証券リビング、平和不動産リート、星野リゾート・リートなどをアンダーウエートとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドは、参考指数として東証REIT指数（配当込み）を用いています。当作成期における参考指数の騰落率は1.8%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は2.7%となりました。

投資口価格のパフォーマンスが参考指数を上回ったラサールロジポート、大和ハウスリート、三菱地所物流リート、イオンリートをオーバーウエートとしていたことなどがプラスに寄与しました。他方、投資口価格のパフォーマンスが参考指数を上回った星野リゾート・リート、伊藤忠アドバンスロジスティクス、日本ロジスティクスファンド、SOSIL A物流リートをアンダーウエートとしていたことなどが、マイナス要因となりました。

《今後の運用方針》

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつJリートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物・オプション) (投資信託証券)	31円 (0) (31)
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	31

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 投資信託証券

(2021年5月11日から2021年11月10日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
国内	318.803	53,937,306	246.899 (—)	42,552,365 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2021年5月11日から2021年11月10日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国 内	百万円	百万円	百万円	百万円
不動産投信指数先物取引	5,245	5,132	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
投資信託証券

(2021年5月11日から2021年11月10日まで)

当				期			
銘 柄	買 付			銘 柄	売 付		
	口 数	金 額	平均単価		口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
GLP投資法人	16.928	3,258,972	192,519	大和ハウスリート投資法人	8.287	2,706,163	326,555
ユナイテッド・アーバン投資法人	17.139	2,655,040	154,912	アドバンス・レジデンス	7.21	2,620,019	363,386
日本ビルファンド	3.46	2,497,761	721,896	日本プロロジスリート	6.071	2,257,093	371,782
ケネディクス・オフィス投資法人	3.253	2,440,914	750,358	日本ビルファンド	3.054	2,211,448	724,115
野村不動産マスターF	13.628	2,359,825	173,160	野村不動産マスターF	12.851	2,207,123	171,747
大和ハウスリート投資法人	7.301	2,351,621	322,095	ジャパンリアルエステイト	2.773	1,902,403	686,045
コンフォリア・レジデンシャル	5.826	1,992,181	341,946	東急リアル・エステート	7.983	1,593,198	199,573
ジャパンリアルエステイト	2.895	1,956,384	675,780	産業ファンド	7.288	1,526,373	209,436
日本ロジスティクスファンド投資法人	5.693	1,874,864	329,327	阪急阪神リート投資法人	8.932	1,475,929	165,240
森ヒルズリート	10.558	1,659,960	157,223	スターアジア不動産投	23.942	1,464,421	61,165

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内投資信託証券

銘柄	期首	当期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
エスコンジャパンリート	4.459	4.288	602,464
サンケイリアルエステート	5.461	5.714	699,965
S O S I L A 物流リート投	3.035	—	—
東海道リート投資法	—	2.399	259,331
日本アコモデーションファンド投資法人	4.16	5.768	3,656,912
森ヒルズリート	20.488	27.892	4,339,995
産業ファンド	15.444	12.343	2,557,469
アドバンス・レジデンス	13.944	7.35	2,653,350
ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	12.99	14.981	3,240,390
A P I 投資法人	4.801	5.557	2,528,435
G L P 投資法人	30.657	43.062	7,936,326
コンフォリア・レジデンシャル	2.751	7.703	2,499,623
日本プロロジスリート	18.842	15.647	5,812,860
Oneリート投資法人	—	1.047	312,738
イオンリート投資	14.041	18.084	2,795,786
ヒューリックリート投資法	13.121	11.957	2,044,647
日本リート投資法人	5.334	4.194	1,797,129
積水ハウス・リート投資	25.002	33.656	2,870,856
トーセイ・リート投資法人	—	2.246	297,819
ケネディクス商業リート	5.764	3.708	1,062,712
ヘルスケア&メディカル投資	4.341	0.968	156,235
野村不動産マスターF	36.854	37.631	6,273,087
ラサールロジポート投資	14.976	20.297	3,870,637
スターアジア不動産投	15.465	—	—
三井不動産パーク	3.575	4.65	2,734,200
大江戸温泉リート	0.435	—	—
森トラスト・ホテルリート投	1.62	—	—
三菱地所物流 R E I T	5.786	7.682	3,687,360
C R E ロジスティクスファンド	5.3	—	—
ザイマックス・リート	8.296	5.956	695,065
日本ビルファンド	11.867	12.273	8,738,376
ジャパンリアルエステイト	12.386	12.508	8,517,948
日本都市ファンド投資法人	43.65	56.139	5,698,108
オリックス不動産投資	19.856	19.155	3,482,379
日本プライムリアルティ	3.778	5.567	2,310,305
N T T 都市開発リート投資法人	—	3.647	555,073
東急リアル・エステート	9.769	5.646	1,067,094
グローバル・ワン不動産投資法人	5.554	9.398	1,114,602
ユナイテッド・アーバン投資法人	18.66	32.12	4,577,100
森トラスト総合リート	1.565	4.386	641,233
インヴィンシブル投資法人	39.427	52.678	2,288,859
フロンティア不動産投資	2.05	3.46	1,764,600
日本ロジスティクスファンド投資法人	1.674	5.487	1,816,197

銘柄	期首	当期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
福岡リート投資法人	2.721	7.305	1,235,275
ケネディクス・オフィス投資法人	2.609	4.475	3,172,775
いちごオフィスリート投資法人	—	13.541	1,167,234
大和証券オフィス投資法人	2.08	2.21	1,617,720
阪急阪神リート投資法人	7.84	—	—
スタートアップリート投資法人	0.667	—	—
大和ハウスリート投資法人	17.953	16.967	5,514,275
ジャパン・ホテル・リート投資法人	19.614	22.126	1,478,016
ジャパンエクセレント投資法人	11.45	10.148	1,417,675
合計	□数、金額	532.112	604.016
	銘柄数<比率>	47銘柄	45銘柄 <96.7%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
国内 東証 R E I T	百万円 2,465	百万円 —

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年11月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	123,560,248	96.1
コール・ローン等、その他	4,977,082	3.9
投資信託財産総額	128,537,331	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年11月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	129,684,931,199円
コール・ローン等	3,044,577,729
投資信託証券(評価額)	123,560,248,200
未収入金	661,791,677
未収配当金	1,170,393,593
差入委託証拠金	1,247,920,000
(B) 負債	1,873,406,744
未払金	681,396,744
未払解約金	44,410,000
差入委託証拠金代用有価証券	1,147,600,000
(C) 純資産総額(A - B)	127,811,524,455
元本	36,265,606,080
次期繰越損益金	91,545,918,375
(D) 受益権総口数	36,265,606,080口
1万口当り基準価額(C / D)	35,243円

*期首における元本額は33,552,990,780円、当作成期間中における追加設定元本額は3,058,220,855円、同解約元本額は345,605,555円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、
 ダイワ・Ｊ－ＲＥＩＴファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用) 33,509,665,629円
 安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型) 9,630,556円
 インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型) 8,607,298円
 成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型) 44,228,410円
 6資産バランスファンド(分配型) 84,568,014円
 6資産バランスファンド(成長型) 224,395,505円
 世界6資産均等分散ファンド(毎月分配型) 24,265,422円
 ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型) 26,757,433円
 DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/安定コース) 302,386,189円
 DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/6分散コース) 382,318,755円
 DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/成長コース) 560,082,597円
 DCダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブファンド 307,184,059円
 ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)(成長型) 64,045,729円
 ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)(安定型) 19,549,156円
 ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)(分配型) 98,365,944円
 ダイワ・アクティブリリート・ファンド(年4回決算型) 599,555,384円
 です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は35,243円です。

■損益の状況

当期 自2021年5月11日 至2021年11月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,023,438,057円
受取配当金	2,023,926,041
受取利息	24
その他収益金	5
支払利息	△ 488,013
(B) 有価証券売買損益	801,456,837
売買益	3,915,682,904
売買損	△ 3,114,226,067
(C) 先物取引等損益	45,721,640
取引益	157,573,640
取引損	△ 111,852,000
(D) 当期損益金(A + B + C)	2,870,616,534
(E) 前期繰越損益金	81,615,995,280
(F) 解約差損益金	△ 896,030,584
(G) 追加信託差損益金	7,955,337,145
(H) 合計(D + E + F + G)	91,545,918,375
次期繰越損益金(H)	91,545,918,375

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。